

金曜日 2 講時

面接/Face-to-face

学則第 9 条の 5 対象：対象外/Not Applicable

Article 9-5 of the Undergraduate Regulations applies

10403313-034

△ 3 年次演習関連科目 2-34 (SAS によるプログラミングと経済分析 2)

2 単位/Unit 秋学期/Fall 今出川/Imadegawa 講義/Lecture

Third Year Advanced Seminar 2-34 (SAS Programming for Economic Analysis 2)

竹廣 良司

<概要/Course Content Summary>

実証分析に必要となるデータの加工や、推定を行うために SAS についての学習を行うことを目的とする。「SAS によるプログラミングと経済分析 2」では、SAS のプログラミングの応用について学んだ上で、大容量の企業財務データを用いて実際にデータの入出力や選別などデータ加工を行い、データベースを作成する。これをもとに各自の選んだテーマについてのレポート提出を求める。

本科目は担当者の 3 年次演習の関連科目であり、当該演習登録者の履修のみ認めるものとする。

<到達目標/Goals,Aims>

SAS のプログラミングの応用について学び、大容量の企業財務データを用いて実際にデータの入出力や選別などデータ加工を行い、データベースを作成し活用できるようになる。

< DO Week 期間の初回動画等の配信/The delivery of the first video, etc. during the "DO Week">

あり / Deliver the video

- ・ 3 年次演習関連科目 2 DoWeek

<https://doshisha.ap.panopto.com/Panopto/Pages/Viewer.aspx?id=ab27e302-ad55-43fe-b82e-b1e900d43933>

<授業計画/Schedule>

実施時期/Week	授業回/Number of Lesson	授業実施方法/How to Conduct a Lesson	授業実施時間数/Class Hours
	内容/Contents		
	授業計画外の学習/Assignments		
第 1 週 DO Week	1	オンデマンド (動画視聴) /On-demand(watching video)	90 分/min.
	3 年次演習関連科目 1 (SAS によるプログラミングと経済分析 1) の復習		
	授業後に十分復習すること		
第 2 週	2	面接/Face-to-face	90 分/min.
	データ変換の方法 (1)		
	授業後に十分復習すること		
第 3 週	3	面接/Face-to-face	90 分/min.
	データ変換の方法 (2)		
	授業後に十分復習すること		
第 4 週	4	面接/Face-to-face	90 分/min.
	データ選択のアルゴリズム (1)		
	授業後に十分復習すること		
第 5 週	5	面接/Face-to-face	90 分/min.
	データ選択のアルゴリズム (2)		
	授業後に十分復習すること		
第 6 週	6	面接/Face-to-face	90 分/min.
	データ選択のアルゴリズム (3)		
	授業後に十分復習すること		
第 7 週	7	面接/Face-to-face	90 分/min.
	繰り返し処理 (1)		
	授業後に十分復習すること		
第 8 週	8	面接/Face-to-face	90 分/min.
	繰り返し処理 (2)		
	授業後に十分復習すること		
第 9 週	9	面接/Face-to-face	90 分/min.
	より高度なデータの入出力方法 (1)		
	授業後に十分復習すること		

第 10 週	10	面接/Face-to-face	90 分/min.
	より高度なデータの入出力方法（2）		
	授業後に十分復習すること		
第 11 週	11	面接/Face-to-face	90 分/min.
	大容量データへのアクセスとデータベースの作成（1）		
	授業後に十分復習すること		
第 12 週	12	面接/Face-to-face	90 分/min.
	大容量データへのアクセスとデータベースの作成（2）		
	授業後に十分復習すること		
第 13 週	13	面接/Face-to-face	90 分/min.
	大容量データへのアクセスとデータベースの作成（3）		
	授業後に十分復習すること		
第 14 週	14	面接/Face-to-face	90 分/min.
	財務データを用いた分析		
	授業後に十分復習すること		
授業期間終了後/ After the Class Period	15	オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	90 分/min.
	まとめ		
	授業後に十分復習すること		

授業実施方法/How To Conduct a lesson	授業実施時間数/Class Hours
面接/Face-to-face	1170 分/min.
オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	180 分/min.
オンデマンド（授業内課題）/On-demand(assignment in class)	0 分/min.
リアルタイム配信/Real-time online	0 分/min.
その他/Others	0 分/min.
総合計/Totlal Amount class hours	1350 分/min.

アクティブラーニング/Active Learning

実習 / Practical Training

使用システム/System tools

e-class

<成績評価基準/Evaluation Criteria >

小レポート 30%

授業内容の理解を確認する。

期末レポート 70%

各自の選んだテーマについて分析をおこない、その過程で適切なプログラミングができるかどうかを確認する。

出席自体は評価項目とはしないが、小レポートは授業時間中の作成提出を求めるものであり、出席を前提としている。

<テキスト/Textbook >

使用しない。

<参考文献/Reference Book >

適宜指示する。

<連絡方法/Contact method >

科目担当者への連絡方法/Contact method from student to instructor

e-class

科目担当者からの連絡方法/Contact method from instructor to students

e-class

<備考/Remarks>

情報教室での PC の画面でプログラムを確認しながらの授業となる。授業中の討議等は計画しておらず担当者による講義と講義内容に基づく実習というスタイルになる。画面上で数値を確認したり、レポートを作成するため文章を入力する必要がある。